

旭川市地域再犯防止推進モデル事業概要

■事業名称 物質使用障害者の立ち直りと回復を地域で支援する事業

■実施体制 取組の大部分を一般社団法人道北地方物質使用障害研究会に再委託

■事業スキーム

○目的

地域における物質使用障害の支援策として、関係機関・団体等とのネットワークの構築、物質使用障害の当事者支援、物質使用障害者の回復支援に関わる人材育成や普及啓発等の業務の実施し、地域の再犯防止に資する。

○期間及びスケジュール

平成30年 9月～平成30年10月 地域の実態調査，事業実施計画の策定
平成30年11月～令和 2年12月 各取組の実施
令和 3年 1月～令和 3年 3月 効果検証

○取組内容

- ・ 薬物依存者への直接的支援として依存症回復支援セミナーを月2回の頻度で開催（再委託）
- ・ 薬物依存について幅広く啓発するため毎年度フォーラムを開催（再委託）
- ・ 道北地方の物質使用障害者支援についての理解促進，支援に携わる人材の育成のため物質使用障害学習会を開催（再委託）
- ・ 物質使用障害者を支援する者の技能向上のため派遣研修等を実施（再委託）
- ・ 地域の関係機関等が情報共有・情報交換できるネットワークの構築

■事業の成果

- ・ 当事者支援や普及啓発，人材育成を目的に開催する会議等について，改善すべき点，改善する手法を客観的に検討することができた。
- ・ 支援者の技能向上のため研修会を開催したほか，専門のインストラクターを講師とする派遣研修に延べ5人を参加させ，人材の育成を図った。
- ・ 物質使用障害に関する地域資源である一般社団法人道北地方物質使用障害研究会（通称ポラ研）について，関係機関・団体の認知度が向上した。
- ・ 地域の関係機関・団体が情報交換できる機会が増えた。地域の矯正施設と市の連携もスムーズになり，モデル事業終了後も矯正施設を活用した地方創生策について意見交換を継続していく予定である。